

# 一般質問(要旨)

吉野 芳子

次世代育成支援は子ども自身や子育て家庭の課題を解決するものに

①前期計画の評価への市民参加は②後期計画への市民参加の保障は③狛江独自の課題の把握は④後期計画策定時の子ども参加と意見の生かし方⑤特定事業主行動計画を見直すときの改善点とは。

①市民福祉推進委員会児童作業部会等で行いたい②パブリックコメント等実施予定③ニーズ調査の自由記述欄で意見をもらう④子ども議会や青少年会議の結果を反映⑤時間外勤務の縮減、ボランティア休暇見直しなど。

介護の社会化の理念を貫き安心して暮らせる狛江にするために

①介護保険法改正で同居家族がいる場合の生活援助が制限され混乱しているが市はどう対応しているか②介護のあるべき姿について市民議論が必要だがいかがか③サービス提供に現場の声を生かすべきだが、

①市のガイドラインを居宅介護支援事業者連絡会で周知をした②公募の市民を含んだ介護保険推進市民協議会で議論している③アンケート調査、座談会を行い意見交換を通して

事業計画に生かしていく。

市民の健康を守るため市は積極的な検診の充実に取り組む

①がん検診の受診率向上のための組み立ては②女性特有のがん検診の向上への取り組みと予算措置について③がんの早期発見や治療における市民への啓発活動は④相談窓口などの体制の充実について。

①集団がん検診受診枠を拡大。②女性特有のがんに対する基礎知識の啓蒙と予算の範囲内で。③広報・ホームページによる啓発、40・60歳への勧奨通知やピンクリボンの周知。④健康・保健相談を実施。

谷田部 和夫

道路行政について

①私道整備の基準、多くの市民が日常利用をしている私道の維持管理について。②旧水路敷の通路としての整備活用について。③泉龍寺北側歩道整備、駅前4、5番地区の今後の地区計画の進め方について。

①幅員4m以上、公道に接している等と、過去に申請済みのものについて維持補修。②恒久的活用を視野に入れ、暫定的整備を研究。③歩道は2

浅野 和男

寄附文化の醸成と提案(財政再建の一方策)

市内47カ所に寄附ポストを創設し、24時間、福祉災害支援、緑化、花火大会等の目的で寄附を募り、狛江市名義の預金ができる施策の法的制約及び実行可能性はあるか。

①税金を第三者に収納させるためには地方自治法施行令で制限があり、寄附金は収納委託することができない。市独自で寄附ポストを設置して市職員が集金するのであれば、法的には可能だと考える。

飲食店活性化の一方策として、クラス会減税(仮称)の提案

狛江市民がリーダーシップをとり市外の高校、大学等の卒業生、会社同僚を市内に流入させ、クラス会等を行った場合に、減税またはメリットを与えるための法的制約及び実行可能性はあるか。

①税制は、国の施策等に基づく法制度。狛江市独自でクラス会減税制度を設けるのは難しい。市内でクラス会を開いた幹事に対し減免規定を適

田口 貴子

コミュニティバスについて(市長の市民軽視の行政運営を斬る)

①このバスは福祉バスからの転換。福祉を補う努力は。②公聴を通じて得た多くの市民意見をどう反映させるのか。③拙速な手順で内容が決定され市民軽視、議会軽視と言え

①交通会議に福祉バス利用者参加。利用者説明会実施。②説明会で通所送迎は20年度継続。内容を整理、交通会議で検討。③市民を含めた交通会議、パブコメ、説明会等を経て、11月中の運行を目指す。

子育て支援について(親子の外出支援・新保育所・本物の支援を)

①おむつがえ・授乳スペース「赤ちゃん・ふらっと」の推進を。②今年度内開設を目指した私立保育所誘致はなぜ来年度か。市長の計画行政の責任では。③先進例を学びライフステージごとの子育て支援を。

①子育て支援部局と協力、商工会等を通じ情報提供し、商店街等に協力を求める。②進出希望事業者が相手先の事情で進出不可。他の事業者と交渉し来年4月開設に至った。③新課題等を盛り込み目標を定める。

学校施設について(暑すぎて集中できない。クーラーの整備を)

①地球温暖化と例年の猛暑。学校の空調設備設置の優先順位は。②受験を控え夏休み中の授業も多い中3生への配慮は必須。普通教室でまだ未設置の四中への対応を。③今後の小・中学校全校での展開は。

①実施計画や予算との調整を含め整理していく。②今後、学校や財政等も調整しながら考えていく。③より快適な学習環境の整備に向け、学校が何処に設置を希望するのか相談しながら進めていく。

小川 克美

近年増加傾向にあるゲリラ的集中豪雨における狛江市の対策

①世田谷通り伏越改修工事について。②市内で予想される浸水危険地域について。③住宅地における浸水対策。

①一期工事完了は10月末を目標としている。②市役所周辺、狛江駅北口・南口、世田谷通りと駄倉保育園通りに交差する北側及びその反対側。③土質の違いによる雨水浸透枳設置基準、助成の再検討をする。

多摩川の環境美化について

①今季の問題点及び改善点、深夜の花火による騒音対策は。②今後の狛江市の姿勢、条例策定を含めた抜本的対策は。

①自由ひろばに火気厳禁等の看板設置。②河川事務所による看板設置。③河川占用の結論は出ていない。市民討議会での提案、その後の見通しを見極め、判断していきたい。

石井 功

環境問題について

①地球温暖化の認識とCO2削減について。②ペットボトルのリサイクルの現状について。③太陽光発電についての所見。④市内の農地保全と市民農園の拡充について。

①重要課題。市役所も13年度、不適物4.1%で95.9%は問屋からルートに乗る③改良活用④農地は災害時一時避難地・温暖化抑制の役割あり。農園は健康づくり含め意義大。

須田 繁美

人事・労務管理の考え方と実践について

①4月昇給した職員のラス指数は。②適正化計画より職員数が激減し組織バランスが崩れている。勧奨退職制度を再考し、接客マナー等の研修を施し、市長への手紙等の苦情を解決し、後継者育成計画は。

①単純計算で2ポイント上がり103.4と見込んでいる。②主任昇任試験の受験資格年齢を引下げ、早期人材発見・育成を図る。管理職昇任試験は、年齢による受験機会の空白期間をなくす。

栗山 欽行

コミュニティバスの運行と道路行政について

①バス運行による傷みが懸念され計画的な維持管理が必要と思うが。②交通バリアフリー法に準じた停留所施設が求められると思うが。③バス車両、高齢者・障がい者等が安全利用できる仕様となっているか。

①必要性については十分認識。財政状況を鑑み効果的に行う。②ベンチや上屋が有効だが、十分な歩道幅員が必要のため、設置が進まず。③車両はノンステップ、車いす利用者はスロープで対応。

①次年度の予算編成に活かす機能する行政評価制度について

①現在の行政評価制度は十分に機能しているといえるのか。②評価は次年度の予算編成までに終えるべき決算事務の一つ。③項目を全事業に拡大、第三者評価を実施・活用する必要はあると思うが。

①狛江市でも、制度の見直し・向上を図る時期に来ている。②翌年度の予算編成前には評価を完了させる必要がある。③第三者評価は新しい行政評価制度の中で重要な位置付けである。

